

京都市市民生活実感調査 調査票

生活実感

京都市の施策 〔京都市の行政活動の目標〕	質 問	選択肢				
		そう思う	どちらか という そう思う	どちらとも 言えない	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
日々のくらしのなかに 人権を大切にし、尊重し 合う習慣が根付いた 「人権文化」の構築	Q 1. 京都は普段の生活の中で「人権」を大切にし、尊重し合う習慣が根付いている。	a	b	c	d	e
子どもの人権の尊重	Q 2. 一人一人の子どもの人格が大切にされ、子どもの権利が守られている社会である。	a	b	c	d	e
障害のあるひとの人権の尊重	Q 3. 障害のあるひとが、様々な面で暮らしやすいまちになってきている。	a	b	c	d	e
多文化共生社会の実現	Q 4. 国籍、民族、文化等が違ってもお互いに理解し合い、共生する社会になってきている。	a	b	c	d	e
だれもがずっと くらし続けたい すまい・まちづくり	Q 5. 今住んでいる住宅や周りの環境には満足している。	a	b	c	d	e
高齢者や障害のあるひと の能力向上や働く場の確保	Q 6. 高齢者や障害のあるひとの働く場が確保されている。	a	b	c	d	e
学校と家庭・地域の連携	Q 7. 学校と家庭・地域が一体となって子どもたちを見守っている。	a	b	c	d	e
障害のある子どもの 教育の推進	Q 8. 障害のある子どもの状況に応じた教育が行われている。	a	b	c	d	e
ゆとりと潤いのある 学習環境づくり	Q 9. 最近の学校は施設や設備が充実している。	a	b	c	d	e
高齢者とその家族の生活 を支えるサービスの充実	Q 10. 高齢者とその家族を支えるホームヘルプ（訪問介護）などのサービスが充実している。	a	b	c	d	e
母と子のいのち・健康を 守る保健医療の充実	Q 11. 子どもを産み育てるときに、気兼ねなく健康相談を受けたり、病院にも行けるなど、安心である。	a	b	c	d	e
障害のある子どもや 養護に欠ける子どもの 子育て支援	Q 12. 障害のある子どもや保護者の養護が足りない子どもに対する子育て支援が十分に行われている。	a	b	c	d	e
子どもたちがのびのびと 健やかに成長できる しくみづくり	Q 13. 子どもの居場所や遊び場所があるので、様々な体験ができる。	a	b	c	d	e

京都市の施策 〔京都市の 行政活動の目標〕	質 問	選択肢				
		そう思う	どちらか というと そう思う	どちらとも 言えない	どちらか というと そう 思わない	そう 思わない
市民の健康をしっかりと 守る取組の推進	Q 1 4. 医薬品の副作用や食中毒, 感 染症など健康に関する情報が 手に入れやすい。	a	b	c	d	e
精神保健・医療・福祉 サービスを支える体制の 整備	Q 1 5. 精神に障害のある人への保健, 医療, 福祉サービスが充実し ている。	a	b	c	d	e
スポーツ活動の機会や 施設に恵まれた まちづくり	Q 1 6. 地域において, 気軽にスポー ツを楽しむ機会がある。	a	b	c	d	e
環境と共生するくらしの 実現	Q 1 7. 「きれいな空気, 清らかな川, 静かなまち」など, よい環境 が保たれている。	a	b	c	d	e
京都のまちの特色に配慮 した災害に強い まちづくり	Q 1 8. 建物の耐震対策や防火水槽の 設置などにより, まち全体の 防災機能は高くなってきてい る。	a	b	c	d	e
市民のくらしと豊かな文 化・歴史の蓄積を守る災 害に強い組織づくり	Q 1 9. 地域の自主防災組織があるの で, 災害から身を守るために, 住民同士協力しあえるようにな ってきている。	a	b	c	d	e
消費者が自立し安心して くらせるまちづくり	Q 2 0. 情報提供や啓発活動などによ り, 消費者被害に遭わないた めの知識が備わってきた。	a	b	c	d	e
歩くまちの歩行空間の形 成と自転車利用の促進	Q 2 1. 歩道の電柱や段差がなくなる など快適になった。	a	b	c	d	e
歩くまちをつくる新しい 交通政策の推進	Q 2 2. 公共交通機関を利用する人が 増えている。	a	b	c	d	e
新しい交通政策の確立						
個性的で美しい景観の形 成	Q 2 3. 京都の個性的なまちなみ景観 が守られている。	a	b	c	d	e
木の文化が息づく まちづくり	Q 2 4. まちなかには文化を感じさせ る木造建築がきちんと残って いる。	a	b	c	d	e
市民文化の振興	Q 2 5. 市民の文化活動が盛んである。	a	b	c	d	e
豊かな文化資源を生かし た芸術文化の振興	Q 2 6. 京都ならではの文化資源を生 かした文化・芸術活動が盛ん である。	a	b	c	d	e
文化と観光・産業の連携	Q 2 7. 観光や産業振興に文化資源が うまく活用されている。	a	b	c	d	e

生活実感

京都市の施策 〔京都市の 行政活動の目標〕	質 問	選択肢				
		そう思う	どちらか という そう思う	どちらとも 言えない	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
都市の活力を生む多様な 交流の推進	Q 2 8. 関西圏での連携や周りの都市 との交流が行われているので、 京都のまちに活気が生まれて いる。	a	b	c	d	e
時代に応じた学習関連 施設の充実	Q 2 9. 図書館や色々な博物館など、 いつでも学べるような環境が 整っている。	a	b	c	d	e
京都独自の新たな 産業連関都市の構築	Q 3 0. 京都の特色を生かした産業活 動が活発に行われている。	a	b	c	d	e
地域に密着した商業の 振興	Q 3 1. 市内の買物環境に満足してい る。	a	b	c	d	e
21世紀の京都を牽引 する観光の創造	Q 3 2. 寺院、神社でのライトアップ など、新たな観光資源の開発 が活発である。	a	b	c	d	e
海外からの観光客誘致の 強化	Q 3 3. 京都は海外からの観光客にと って魅力的な都市である。	a	b	c	d	e
観光客を温かくもてなす しくみづくり	Q 3 4. 京都は観光客を温かくもてな すまちである。	a	b	c	d	e
京都をあげての観光振興 の推進						
産学公の連携の推進	Q 3 5. 大学の人材・研究成果は産業 活動に役立っている。	a	b	c	d	e
大学施設整備への支援	Q 3 6. 京都の大学は、施設や環境が 充実している。	a	b	c	d	e
産業や文化など若者の 活躍の場づくり	Q 3 7. ベンチャー企業支援や若者企 画のイベントなど、京都は若 者が活躍できる場である。	a	b	c	d	e
保全・再生・創造を基調 とするまちづくり	Q 3 8. 美しい自然や町並みが保たれ ている一方、南部地域には企 業が集積するなど、多様なま ちづくりが進んでいる。	a	b	c	d	e
まちづくりを支える しくみづくり	Q 3 9. 景観や住環境を守るための住 民によるまちづくり活動が盛 んになってきている。	a	b	c	d	e
都市圏内の交流を支える 交通網の充実	Q 4 0. 鉄道網や道路網が発達してい るので、近隣の都市へ出かけ るのに便利だ。	a	b	c	d	e

京都市の施策 〔京都市の 行政活動の目標〕	質 問	選択肢				
		そう思う	どちらか というと そう思う	どちらと も言えな い	どちらか というと そう 思わない	そう 思わない
高度情報通信社会に 対応するための基盤整備	Q 4 1. インターネットをはじめとし た情報通信技術（I T）をだ れもが利用しやすい。	a	b	c	d	e
情報基盤を活用した 企業活動の支援	Q 4 2. 企業の I T 化は十分進んでい る。	a	b	c	d	e
高齢者や障害のあるひと への高度情報化による 支援	Q 4 3. 情報通信技術は高齢者や障害 のあるひとの社会参加に役立 っている。	a	b	c	d	e
市民の目線での市政情報 の提供や公開	Q 4 4. 市民しんぶんやその他の市政 広報は、くらしの役に立つ情 報が掲載されている。	a	b	c	d	e
市民とともに政策を 企画・実施・評価してい くための情報の共有	Q 4 5. 市政に参加したいと思ったと きに、必要な情報を得やすい。	a	b	c	d	e
個性ある政策を形成する ための条件整備	Q 4 6. 京都独自の政策が打ち出され ている。	a	b	c	d	e
新たな発想・手法を取り 入れた行政運営の推進	Q 4 7. 役所の仕事ぶりは、以前より も良くなった。	a	b	c	d	e
公共事業の再評価	Q 4 8. 公共事業の再評価によって事 業の点検がしっかりできてい る。	a	b	c	d	e
区役所の総合庁舎化	Q 4 9. 区役所で保健や福祉のサービ スも利用できるなど、便利に なった。	a	b	c	d	e

政策重要度

京都市では、次のような各分野の政策に取り組んでいます。

この中で、あなたにとって今、特に大切と思われる分野について、**5つまで選んで「○欄」**に○を付けてください。

分野・政策名	○欄	分野・政策名	○欄
1 人権文化 [ひとりひとりが個人として厚く尊重される]		15 生涯学習 [生涯にわたってみずからを磨き高める]	
2 住環境 [すべてのひとがいきいきと活動する]		16 産業 [産業連関都市として独自の産業システムをもつ]	
3 しごと [すべてのひとがいきいきと活動する]		17 観光 [魅力ある観光を創造する]	
4 学校教育 [子どもたちが心豊かで社会性を身につけみずからの生き方を学ぶ]		18 大学 [大学の集積・交流が新たな活力を生み出す]	
5 福祉 [すべてのひとが相互に支え合い安心してくらす]		19 青少年 [若者が集い能力を発揮する]	
6 子育て [子どもを安心して産み育てる]		20 個性と魅力あるまちづくり [個性と魅力あるまちづくり]	
7 健康（保健・医療，スポーツ） [心身ともに健やかにくらす]		21 交通基盤 [多様な都市活動を支える交通基盤づくり]	
8 環境 [環境への負担の少ない持続可能なまちをつくる]		22 高度情報化 [高度情報通信社会に対応できる基盤づくり]	
9 消防・防災 [災害に強く日々のくらしの場を安全にする]		23 情報公開 [情報を市民と共有する]	
10 生活安全（犯罪・事故，消費生活） [日常生活における身近な安全や安心を確保する]		24 市民参加 [市民の知恵や創造性を生かした政策を形成する]	
11 歩いて楽しいまちづくり [歩いて楽しいまちをつくる]		25 市政改革 [市民とともに政策を実施する]	
12 美しいまちづくり [美しいまちをつくる]		26 行政評価 [市民とともに政策を評価して市政運営に生かす]	
13 文化 [成熟した文化が実現する]		27 区役所を拠点とする地域づくり [個性を生かした魅力ある地域づくりを進める]	
14 国際交流 [国内外との多彩な交流を行う]			

※ []は、京都市基本計画の政策項目です。

市政関心度

あなたは**京都市政に関心**がありますか。次の中から**1つ選び**○を付けてください。

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| 1. 関心がある | 2. 少しは関心がある | 3. あまり関心がない |
| 4. まったく関心がない | 5. わからない | |

自由記述

市に望むこと，このアンケートに關すること，その他**何でも結構**です。**ご意見，ご提案**がございましたら，ご記入ください。

（特に，アンケートで無回答，「そう思わない」又は「どちらとも言えない」とのご回答があった場合，その理由をお聞かせいただければ幸いです。）

◇ 最後に，あなたご自身のことについてお尋ねします。次の①～⑤の各項目について，該当する番号を**1つ選び**○を付けてください。

① 性 別

1. 男 2. 女

② 年 齢

1. 20 歳代 2. 30 歳代 3. 40 歳代 4. 50 歳代
5. 60 歳代 6. 70 歳代 7. 80 歳以上

③ 職 業

1. 自営業・自由業 2. 会社員・公務員等給与所得者 3. 主婦・主夫
4. 学生 5. 無職 6. その他（ ）

④ 居住区

1. 北区 2. 上京区 3. 左京区 4. 中京区 5. 東山区 6. 山科区
7. 下京区 8. 南区 9. 右京区 10. 西京区 11. 伏見区

⑤ 京都市での居住年数

1. 5年未満 2. 5～11年未満 3. 11～31年未満 4. 31年以上

アンケートはこれで終了です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて**5月19日（水）までに**投函をお願いいたします。